

研究課題名	360°パノラマ撮影型小腸カプセル内視鏡の有用性に関する検討
研究責任者名	広島大学病院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
研究期間	実施許可日 ~ 2027年3月31日
対象者	2021年7月~2025年3月31日の間に、広島大学病院消化器内科で CapsoCam Plus <sup>®</sup> を使用しCE検査を施行した患者さん
意義・目的	Friedrichらは、CapsoCam Plus <sup>®</sup> はVater乳頭部の検出率が高いことを報告しています。一方で、最近の各種カプセル内視鏡（CE）の診断能に関するメタアナリシスでは、診断能に差はないとされています。そこで、当施設でのCapsoCam Plus <sup>®</sup> の使用経験を基に、患者満足度や従来のCEと比較した上での有用性・劣性を明らかにすることは、今後の小腸内視鏡診療にとって有益であるために、今回の研究を行うこととしました。
方法	本研究は、患者の臨床的特徴、質問票を用いた検査受容性について検討する。当院内視鏡診療科にて行われた内視鏡録、当院における診療録を用いて、自ら集計、簡単な統計処理を行う研究です。用いるデータは性別、年齢、併存疾患、内服薬、出血時ヘモグロビン値、輸血の有無、出血形態、内視鏡画像診断などを内視鏡診療録、診療録、質問票（診察時に収集）から集積します。対象症例のうち、過去に従来型のカプセル内視鏡を使用した検査をおこなった症例については、同一症例の過去のデータも使用します。研究は同一施設内に限り情報は外部に提供しません。
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	研究代表者 広島大学病院 医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p>

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5538

広島大学病院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎

広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 大学院生 平田 一成